



札幌市立認定こども園にじいろ  
研究だより 第1号  
令和7年6月30日(月)

令和7年  
4月から

## 研究実践園は新たな研究テーマで 実践研究に取り組みます



### 令和7年度研究事業

#### 札幌市の幼児教育施設を取り巻く環境と実践における課題

市立幼稚園では、外国にルーツのある幼児を含めた特別な教育的支援を必要とする幼児や、保護者の就労等による長時間保育を必要とする幼児が増えてきています。また、子育ての悩みを相談したり、助け合ったりできる環境がないという保護者もあり、幼児教育施設が家庭教育を支えることの重要性を感じています。その他、感性に働きかけるような実体験の不足や家庭生活において家族以外の人や地域の環境と関わる経験が少ないまま入園する幼児も少なくないなどの状況があると捉えているところです。この状況を踏まえ、以下のような【研究主題】を設定しました。

### 全国【研究主題】子どもの「やってみたい」があふれ、未来につながる幼児教育

安心感、信頼感が基盤にある園生活で、子どもの「やってみたい」を大切にしたい保育実践により、好奇心、やりぬく力、コミュニケーション力、自己調整力などを育み、これらの資質・能力が小学校以降の学びの土台となり、子どもたちの未来につながっていくことを願い、実践研究に取り組みます。

【研究の重点】については、札幌市の幼児教育における課題と国の示す課題が共通することから文部科学省の「今後の幼児教育の教育課程、指導評価等の在り方に関する有識者検討会」最終報告による、幼児教育を取り巻く状況や課題等を参考に設定し、研究実践園が【研究の重点】を分担して取り組みます。

### 各園分担【研究の重点】幼児教育における今日的課題に応じた保育実践の充実～

| 共生社会の実現に向けて                                                          | 地域の中で子どもを育む幼児教育の充実                                                                                             |
|----------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 一人一人が違っていて面白い！と思える子どもに育てるには【白楊幼稚園】                                   | 地域とつながる中で、人とつながる嬉しさや楽しさを感じられるようになるためには【中央幼稚園】                                                                  |
| 家庭教育を支える幼児教育施設の取組                                                    | 長時間保育における幼児期にふさわしい生活                                                                                           |
| 子どもの経験や思いを家庭と共有し、つなげていくことによる子どもの生活の充実と育ちについて【かつこう幼稚園】                | 一人一人が一日を通して充実した生活を送ることができるための援助とは【認定こども園にじいろ】<br>自分の思いや考えをのびのびと表すことがでの中で、やってみたいことに会い、自ら動き出せるようになるためには【はまなす幼稚園】 |
| 幼児教育と小学校教育の円滑な接続<br>「やってみたい！」意欲＝(学びに向かう力)を育む教師の援助とは<br>【さくすいもとまち幼稚園】 |                                                                                                                |

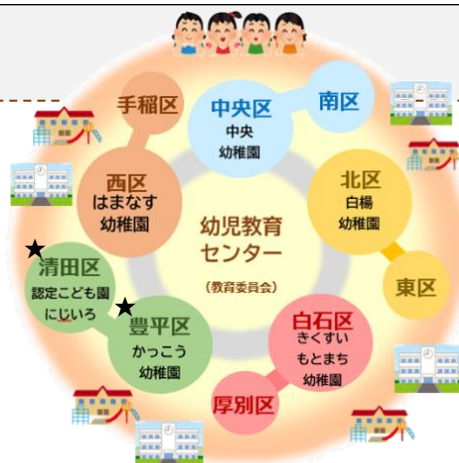
### 令和7年度から市立幼稚園は5園になりました

#### ▶幼児教育の考え方を共有

→研究実践園である核となる5園と認定こども園にじいろが図の色分けしている区へ実践研究で分かったことを発信・共有します。(豊平区・清田区は区ごとに発信)

#### ▶公開保育を活用した研修(実践発表会 等)

→幼児教育施設と小学校が共に学ぶ機会をつくれます。



研究の重点：『長時間保育における幼児期にふさわしい生活』  
研究の視点：一人一人が一日を通して充実した園生活を送るために

にじいろに通園している子どもたちの一日の過ごし方や生活の仕方が近年多様化してきています。（長時間保育、短時間保育、預かり保育の利用など）様々な生活様式の子どもたちが生活をともにし、その中で「やってみたい」気持ちを育むにあたり、「やってみたい」を支えていく保育者の援助也多岐に渡っていくのではないかと予想しました。今年度は一人一人の「思い」に着目しながら保育者の必要な援助や環境構成について探っていきます。

にじいろの一日の流れ

|  |                                       |                                  |                                            |
|--|---------------------------------------|----------------------------------|--------------------------------------------|
|  | 保育時間<br>7:00～9:00<br>登園、自由遊び<br>（異年齢） | 教育時間<br>9:00～13:00<br>クラス活動（同年齢） | 保育時間<br>13:00～19:00<br>降園、午睡、おやつ、自由遊び（異年齢） |
|--|---------------------------------------|----------------------------------|--------------------------------------------|

園児の登園時間の例

園での生活時間も違うが、平日休みや土曜保育など家庭での過ごし方も様々である。

|  |          |            |     |             |          |
|--|----------|------------|-----|-------------|----------|
|  | 家庭で過ごす時間 | 登園<br>7:00 | 園生活 | 降園<br>19:00 | 家庭で過ごす時間 |
|  | 家庭で過ごす時間 | 登園<br>9:00 | 園生活 | 降園<br>13:00 | 家庭で過ごす時間 |
|  | 家庭で過ごす時間 | 登園<br>9:00 | 園生活 | 降園<br>17:00 | 家庭で過ごす時間 |
|  | 家庭で過ごす時間 | 登園<br>8:00 | 園生活 | 降園<br>16:00 | 家庭で過ごす時間 |

<事例検討>

3～5歳児、各年齢の遊びや子どもの姿をもとに事例を作成し、下記の観点で話し合いを行います。

幼児の姿

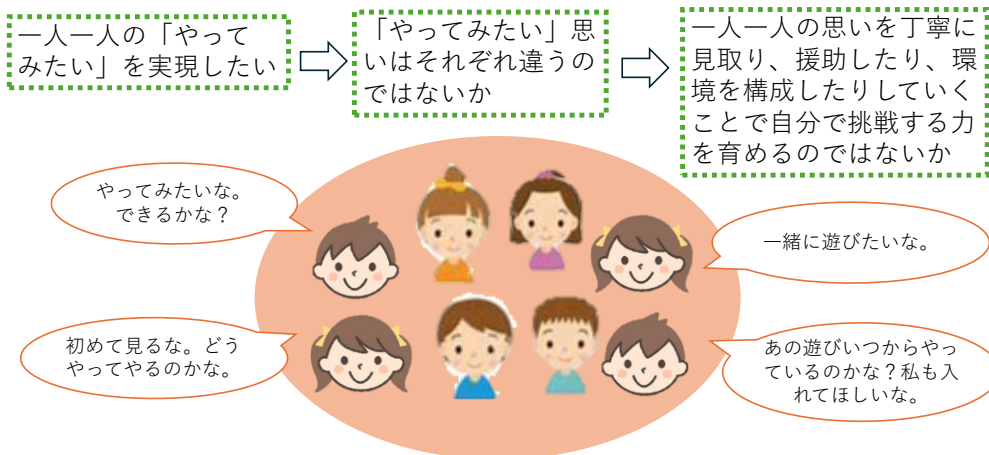
- ◆遊びへの思い
- ◆安定した生活

保育者同士の  
連携

保育者の援助・  
環境の構成

家庭とのつながり

視点:一人一人が一日を通して充実した園生活を送るために



多様な生活の中で生まれる一人一人の「やってみたい」思いに着目して援助を探っていきます

本園研究アドバイザー：札幌国際大学 人文学部心理学科  
子ども心理専攻 教授  
木村 彰子 氏

<アドバイザー研修>

研究アドバイザーを講師に、長時間保育の観点で子どもの見取り、保育者の援助について考えていきます。

